

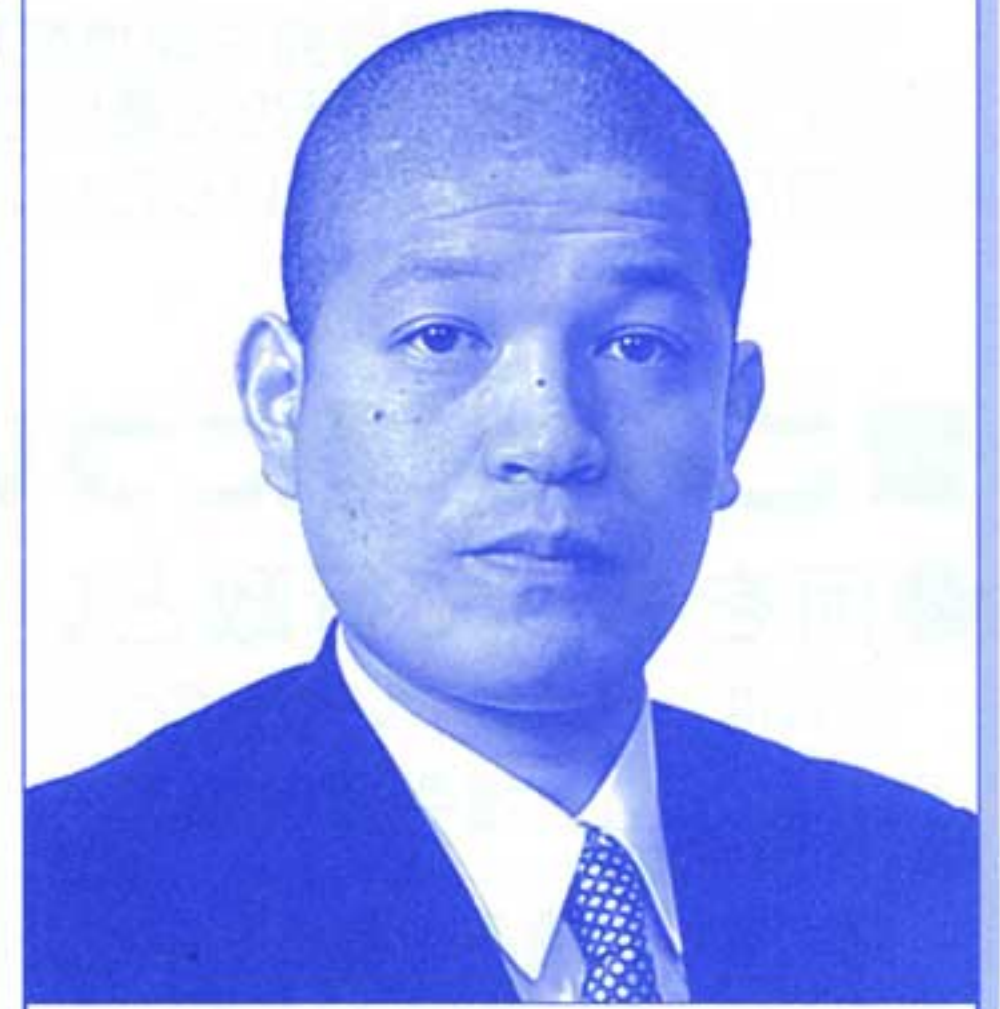
# よしかわ通信

E-mail kyudaiji@aqua.ocn.ne.jp

りん どう



## 凛道



発行

高萩市議会議員

よしかわ どう りゅう

吉川道隆

高萩市安良川686

TEL 0293-24-0833

FAX 0293-22-3340

立春の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素はひとかたならぬ御指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、いじめを苦に自殺する子供が相次ぎ、問題となりました。児童虐待、家庭内の殺人事件、複雑な社会環境の中、子供同士の関係もますます複雑になっているようです。家庭、学校、地域社会が、子供たちに対し、命の尊さ、大切さをもっと理解していけるような指導をしていかなければなりません。各教育機関の対応が問われるものと思われまます。

ごみ処理施設の建設について、執行部が建設地を旧北部衛生センター跡地と言及し、住民説明会などに力を入れている点については、評価されると思いますが、北茨城市日棚地区との関係をどのように対応するかが今後の課題と言えるでしょう。

平成19年も、私なりに最善の努力を尽くしてまいりたいと思っております。皆様方の御理解と今後の御協力および、御意見、御指導、御要望をよろしくお願い申し上げます。

## 平成18年12月議会一般質問

### ■リサイクルプラザについて

◎リサイクルプラザとは？ 全国各地の市町村にあり、「ごみの減量化及び再生利用を推進・実践するための拠点施設として、市民、消費者団体、各種市民団体等にごみの減量化やリサイクルに関する啓発を行い、現状の大量消費ライフスタイルを見直す一方、この施設を提供することによって、不用品の修理、交換等のリサイクルを通じた人づくりや地域社会を形成していくとともにコミュニティ形成の場としていくことを目的としています。」

#### (1) 再生機能

・受入：自転車、家具、衣類の一部、古本



・修理：再生工房室にて小修理



・展示：交換バザーPRコーナーに展示



・販売：ミニリサイクルフェア

#### (2) 研修機能

研修室、展示ホール(ごみ、リサイクルに関する意識を高めるための話し合いや研修の場とする)

#### (3) 体験学習機能

体験学習室(市民が修理、再生等の幅広い学習が出来る場とする)

#### (4) 図書情報機能

図書情報室(ごみに関する書籍、ビデオテープ等を配備する)

### ■質問

家具や自転車、衣服など、まだまだ使えるものをただ捨ててはもったいないものを、リサイクルする場がなかなかない。市が管理する施設でできれば、環境に対する関心も高まり、子供たちに対する環境教育の一環、物の大切さを認識するいい機会になる。そんなに経費はかからないので、検討していただきたい。

財政困難な高萩市のごみ25トン进行处理する程度のエネルギーでは、プールにまわすことは出来ないにしても、せっかく環境都市宣言をしたのだから、リサイクルに対する市民の意識向上のためにも、リサイクルプラザの建設を考えていただきたい。環境学習の場として、簡単な実験を行ったり、定期的にイベントをしながら、人が集まるようなすばらしいものを検討してほしい。

## ■市長答弁

リサイクルの啓蒙啓発や環境教育等の活動拠点としての機能をあわせ持つ施設として整備していきたいと考えている。施設設計の段階において、議員の皆様や学校関係者など幅広い関係者の方々と相談しながら、具体的な検討を進めてまいりたい。

## ■ごみ処理について

### ●何をもって行政というのは、協定書を結ぶのか？

それは、継続していくものかどうか？と市長の考えを尋ねた。

## ■市長答弁

協定書は、重みのあるものと受けとめている。周辺地域の皆様方のご理解をいただけるように、誠心誠意対応してまいりたい。

重みはあるけれども、高萩市の危機的な財政状況の中で市民生活の直接したごみ処理施設の建設を、市・市民の安心安全を確保するとともに、10数年後のごみ問題を解決して、今こそ生まれ変わるために苦渋の決断をした。

現在、検討中のごみ処理場については、旧北部衛生センター跡地につくる計画であり、地域住民に対し、市長及び執行部から、誠心誠意、状況説明、話し合いを持つようにしているそうである。ただし、協定書の存在をよく考慮し、話し合いを進めないことにはうまくいかない。地域住民の意向を最大限に尊重しながら、高萩市の財政および現状をよく理解していただき、今まで受けてきた不利益をくつがえすくらい、素晴らしい施設を作ることを前提に話し合いを進めていくべきであると思う。

参考までに、協定書を掲載する。

#### ごみ処理施設及び埋立処分地 施設の建設に関する同意書

昭和54年7月11日

高萩市大字赤浜字町又作2100番地の15に設置されている高萩市・十王町事務組合北部衛生センターの敷地内に、昭和54年度及び昭和55年度の2カ年度継続事業として、高萩市・十王町事務組合が計画しているごみ処理施設及び埋立処分地施設の建設について次の事項を遵守することを条件に同意します。

- 1 新たに建設する施設は、公害がでない施設のものであること。  
万一公害による被害が認められた場合は、補償をすること。
- 2 ごみ処理施設等の設備又は操作上の原因により公害が発生したときは、操業を一時停止し、設備等の改修をした後でなければ操業をしないこと。
- 3 新たに建設するごみ処理施設等の設置期間は、その施設の耐用年数（約8年）とし、その後の建替は他に土地を求めて建設すること。
- 4 ごみ運搬車の運行については、ごみを落したり異状な速度で運転したりしないよう運転マナーの遵守について指導をすること。
- 5 城戸場、上宿に上水道を施設すること。  
また、同時に消火栓の設置をすること。
- 6 ごみ処理施設に至る途中の山林等へのごみの不法投棄をなくすための方策を考え、実行すること。
- 7 城戸場からごみ処理場へ至る運搬道路を舗装すること。

赤浜を公害から守る会  
会長 関 録 吉

高萩市・十王町事務組合

管理者 鈴木 藤 太 殿

上記同意書の条件について、誠意をもって実施することを確約いたします。

昭和54年7月11日

高萩市・十王町事務組合  
管理者 鈴木 藤 太 殿

立会人 高萩市大字下手綱 613番の1

下山田 一 郎

赤浜を公害から守る会

会長 関 録 吉 殿

## ■いじめ問題について

いじめ問題の重大性が指摘され、文部科学省や県の教育委員会において早急に通知が出されるなどの対応がなされてきた。

### 1、高萩市の現状

いじめの年間発生件数を質問した。また、実際に起きた問題に対し、どのように対応されたのか？その都度、解消されたのか？高萩市の教育委員会でも子供の電話相談窓口があるが、相談件数、および、その効果、具体的な対応策について質問した。教育長の答弁によると次の表のような状況であった。

それぞれ独自に工夫した方法で、調査を行い対応に努めているということであった。

	発生件数	解消した件	継続中→最終	電話相談件数	
小学校	160	144	16 → 7	平成17年度	29
中学校	228	183	45 → 5	平成18年度	41

### 2、CAPプログラム (わかりやすい人権の概念を教え、子どもがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といったさまざまな暴力に対処する方法を、子ども、親、教職員、地域の人々に教えるプログラム。)

昨年、秋山小学校でモデル的に取り入れ、その後市内の小中学校で実施されたが、その成果はどうかと質問した。

#### ■教育長答弁

アンケートの結果、教師、保護者、子供たちともに「わかりやすかった」というような回答を得ている。保護者の中には、「子を持つすべての親に参加してほしい企画だった」という意見もあった。

### 3、いじめ予防対策

いじめる側に対する指導、積極的な実態把握と指導について質問した。

#### ■教育長答弁

独特の取り組みとして、中学生では生徒同士の支えあい、信頼できる友達に相談するという取り組みも行っている。学校での取り組みだけでなく、地域、家庭での取り組みも非常に重要。近所同士の声の掛け合いや家庭内で思いやり、正義感、基本的な生活習慣・態度を身につけさせること、何でも率直に話し合え、子供にとって真に安らく環境づくり、親子のきずなを強化することが大事なので、各家庭にもお願いしたい。

いじめている子に対しては、相手の心の痛みが理解できるように繰り返し指導し、カウンセラーによるカウンセリングも行っている。実態の把握をするには、担任と子供たちとの信頼関係づくりを基盤にして、気楽に相談できるような態勢を作りながら、早期発見、早期対応に努めていく。

## 吉川の考察

子供のいじめは昔こんなに大きく取り上げられたことはありませんでした。いつの時代でも少しはあったものです。

しかし、現代においては、そのいじめの程度がエスカレートし、問題は多様化してまいりました。自殺にまでおいこまれるほどのことになるのでは、見過ごすわけにはいけません。少子化のなか、せっかく生まれた大事な命が、自ら絶たれているのでは、大変なことです。社会全体でみなおしていかねばならないと感じております。今、子供たちの中で「いじめられたら、自殺するという道があるんだ」と受け止められているのではないかと思います。テレビ、ゲームなどの普及により、殺すということが悪いことだという認識、死んでしまったらもう元には戻らないんだという認識が不足しているのかもしれない。自分の命は自分だけのものではなく、親や兄弟、社会みんなの中の一人なんだという大切なことが忘れられてしまっています。子供たちが自分からそういうことについて見つめなおす機会を与えてあげられるような指導が大切です。

校内暴力・学級崩壊など、次から次へと問題をおこす子供たち、ひきおこされる問題が次第に変わっておりますが、学校・家庭・地域がつねに注意し、その都度柔軟に対応していくしかないかと思っております。

# ■高萩市条例改廃請求書について

平成19年1月9日付けで、次のような請求が出されました。

## ■高萩市議会議員の定数を減少する条例改廃請求

議員の定数を定める条例（平成12年高萩市条例第31号）の一部を次のように改正する。  
「18人」を「12人」に改める。

### 請求の要旨

景気が衰退する高萩市に、ゴミ処理の民間委託が始まることでさらに年間約5,000万円の処理費用がかかることになった。高萩市の議員数は、日立市や水戸市に比べ、議員一人当たりの住民数から考えると定数が多いから、**ゴミ処理で増えた経費を補うために6人定数削減したい。**

市議会の経費は、年間約1億2,600万円、議員1人あたりの月額は、約58万3,000円となる。6人定数減すれば、年間約4,200万円の節約、それでも約5,000万円を補うには不足、12月議会で、ゴミ処理に関する本議会で反対者6名、欠席者2名で危なく、国の交付金と地方積あわせて、2億5,000万円が市民の負担になるところだった。**市民を馬鹿にするなど怒鳴りたくなかった。そんな議員は必要としない。**

市	人口	議員定数	予算全体の議会費構成率 ※全体予算の議会費	報酬費	政務調査費	費用弁償
高萩市	32,429人	18人	1億8,490万2千円 (1.52%)	375,000円	20,000円	5km未満 2,000円 5km以上 2,500円
水戸市	262,730人	32人(28) 本年4月より施行	5億7,159万8千円 (0.7%)	590,000円	90,000円	5km未満 5,400円 5km以上 5,700円
日立市	198,234人	32人(30) 本年4月より施行	5億6,128万1千円 (0.9%)	510,000円	45,000円	H10.4.1廃止

確かに、人口割でいけば、住民数のわりには定数は多いかもしれませんが、今の定数から、少しは削減すべきだと思います。しかし、だからといって、ごみの経費がかかるようになったから、議会の経費を減らすために議員数を6人削減すればよいというのは、あまりにも短絡的ではないでしょうか？「三人寄れば文殊の智慧」という言葉がありますが、人数がいれば、それだけ意見がある、それぞれの経験の中で意見を言い、審議できることもあると思います。または、定数ではなく、一人あたりの報酬をカットする方向で考えることも出来るでしょう。しかし、議会としても行財政改革のなかで充分見直しをしなければならぬと思います。

この請求書の中では、民間委託にすることにより、従来より約5,000万円の負担増となっていますが、**実際には、委託料が大幅に従来より下がり、19年度予算では日立市に委託していた18年度予算より約2,000万円増ですむ予定であり、更に入札が行われれば、民間業者の価格競争になるので減額するかとおもいます。また、国の交付金がなくなるということはないので2億5,000万円が、市民の負担にはならないし、この2億5,000万円という金額の根拠が明らかではありません。**

今回のように、市民の方に議会活動に関心を持っていただき、ご意見をいただくといことは、非常によい傾向です。12月会議中には、本会議だけでなく、各委員会に、市民の方が傍聴にみえました。このようにどんどん、行政に関わっていただき、みんなで市をよくしていこうという気持ちで参加していただきたいと思っております。しかし、内容的に大人げない表現を用いたり中傷的になっては、せっかくのご意見もと入れられづらくなることもあります。感情的になるのではなく、理論的に考えをまとめて、冷静に意見して頂きたいと感じております。

## 議員定数調べ

H19.1調べ

県	市	人口	議員定数	予算全体の議会費構成率 ※全体予算の議会費	報酬費
山梨県	山梨市	39,346人	20人	1億6,885万1千円 (1.04%)	335,000円
	甲府市	37,050人	20人 H15年以降の一般選挙から適用	1億7,444万8千円 (1.10%)	335,000円
	大月市	30,872人	22人(18)	1億8,850万1千円 (1.60%)	345,000円
	上野原市	28,259人	26人	1億8,622万5千円 (1.60%)	260,000円
栃木県	矢板市	36,363人	22人(16) H15年以降の一般選挙から適用		325,000円
千葉県	勝浦市	22,353人	22人(18) H15年以降の一般選挙から適用		320,000円
茨城県	潮来市	31,306人	24人(22) H15年以降の一般選挙から適用	1億5,394万1千円 (1.40%)	259,000円